

## 1. 研究概要の説明

本委託業務では、位相シフト光干渉法によるセンサを用いた振動観測システム（以下、「光センサシステム」という。）を火山観測に実際に投入して運用し実用化するにあたり、原理的に耐雷性を有する光センサシステムの観測データから火山性地震観測能力と耐雷性能を評価した。

### (1) 研究者別の概要

所属機関・部局・職名	氏名	分担した研究項目及び研究成果の概要	研究実施期間	配分を受けた研究費	間接経費
京都大学・防災研究所・准教授	中道 治久	研究総括、火山性地震観測能力および耐雷性能評価を行うことに加えて、共同実施機関とともに、次年度観測の候補地選定をした。	R2. 4. 1～ R3. 3. 31	1,498,997	345,922
白山工業・基盤開発部 部長 副部長	平山 義治 池田 敏晴	①高温対応3成分センサの試作 ②高温対応光センサの検証 ③ボアホール用高温対応筐体の試作 以上の業務を行い、次年度観測予定のボアホールで観測可能なシステムであることを確認した。	R2. 4. 1～ R3. 3. 31	17,360,471	4,006,262
東京工業大学・工学院・准教授	水谷 義弘	圧力筐体に関する構造等のアドバイスをを行った。	R2. 4. 1～ R3. 3. 31	—	—

### (2) 研究実施日程（京都大学）

研究実施内容	実 施 日 程											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①観測データの評価による光センサシステムの火山性地震観測性能評価	←											→
②観測データの評価による光センサシステムの耐雷性能評価	←											→
③光センサシステムの試験観測候補地選定								△				
④プロジェクト運営	←											→

